

A・・・よくできた B・・・できた C・・・あまりできなかった D・・・できなかった 評価基準 A>=4.0 B>=3.0 C>=2.0 D<2.0

領域	評価の観点	評価項目	実践目標と成果等			平均	評価	昨年	評議員欄	
学校教育目標	校訓を基軸として社会の変化に主体的に対応できる、こころ豊かな個性ある人間の育成	重点目標	生徒と教職員にとって 明るく 楽しい 活力のある 学校づくりを行う。							
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	1	実践目標	学校のホームページ、ブログ、パンフレットを通じて、学校の情報を可能な限り公表する。	4.2	A	4.4	A	
		広報活動の推進	2	実践目標	オープンハイスクール、中学校訪問、学校説明会、文化祭、体育大会など開かれた学校作りを進める。	4.6	A	4.5		
		学校評議員制度の活用	3	実践目標	学校評議員会を複数回実施し、学校運営に反映させる。	4.0	A	3.8		
	新しい取組	社会の変化に対する主体的な対応	4	実践目標	グローバル化、情報化が進む社会の変化に対応し、主体的な取組を行う。	3.8	B	3.5	B	
		生徒指導	生徒指導方針の確認と推進	5	実践目標	生徒指導方針の確認と指導体制の充実を図り、共通理解に基づく生徒指導を推進する。	3.6	B	3.8	A
	生徒指導の充実		6	実践目標	挨拶、ベル着、頭髪、制服等の指導を徹底する。	3.5	B	3.9		
			7	実践目標	自転車通学時のマナー指導、遅刻指導を徹底する。	3.6	B	3.9		
	生徒の内面理解を図る指導		8	実践目標	個人面談・各種調査を通して生徒理解を図るとともに、家庭への連絡や家庭訪問等を通して家庭との連携を図る。いじめ防止に学校全体で取り組む。	4.1	A	4.1		
	生徒の自主性を育む指導		9	実践目標	文化祭、体育大会、球技大会を通して、生徒の自主・自律を育む。	4.2	A	4.1		
	進路指導	進路指導体制の充実	部活動の充実	10	実践目標	部活動への活発な参加と、安全指導・救急対応の適切な実施等を通して部活動の充実に努める。	4.2	A	4.1	A
			11	実践目標	進路に関する情報提供を適切に行う。	4.3	A	4.3		
			12	実践目標	模試の回数・内容を適切なものにし、面談等を通して自己実現を図る指導を行う。	4.3	A	4.1		
	教職員の質の向上	実践的指導力の向上	13	実践目標	進路室・閲覧室を充実させ、進路指導計画、補習・小論文指導の実施内容を適切なものにする。	4.4	A	4.2	A	
			14	実践目標	各教員が実践的指導力の向上に努めるべく、公開授業や研究授業を活用する。	3.9	B	3.3		
	危機管理体制の整備	学校マニュアルの策定	15	実践目標	危機管理マニュアルに基づいて、施設の安全点検や避難訓練や防災研修会等を行い、危機管理意識の向上を図る。	3.9	B	4.0	B	
	学校運営	学校運営全般	16	実践目標	生徒会役員・学級委員を活用し、全校集会や式典を適切に実施する。	3.9	B	4.0	A	
			PTCA活動	17	実践目標	PTA、地域と学校の連携を円滑にする。	4.2	A		3.9
			教育目標・経営方針の共有	18	実践目標	教育目標、学校経営、各年次・各部の目標の周知と理解を図る。	3.9	B		4.0
			機動的な校務分掌	19	実践目標	校務運営委員会、職員会議を適切に運営し、職員のアイデアを生かす。	3.6	B		3.7
	校内環境と保健	校内環境と保健	20	実践目標	掃除・大掃除・大緑化作業等を適切に実施する。	4.4	A	4.3	A	
21			実践目標	カウンセラーと連携し、教育相談やケアを実施する。また保健室を適切に整備する。	4.3	A	4.2			
22			実践目標	心身ともに健康であるための正しい知識を身につけさせ、保健HRの内容を適切なものにする。	4.2	A	4.1			
教育課程	教育課程	指導方法の工夫	23	実践目標	多様な選択科目を用意し、科目選択の指導を適切に行うとともに、基本的な学習習慣が身につく指導をする。	3.9	B	4.1	A	
		学力向上の推進	24	実践目標	特別非常勤講師制度の活用やインスパイア・ハイスクール等の成果を継続的に活用し、確かな学力を向上させる。	3.9	B	4.0		
		授業の年間計画	25	実践目標	年間計画に沿って計画的に授業を行い、授業時数の確保に努める。	4.2	A	4.1		
		指導形態の工夫	26	実践目標	英語・数学等で習熟度別授業等を実施し、個に応じた指導や成績不振者への指導を適切に行う。	4.2	A	4.2		
課題教育	課題教育	他国の歴史や文化の理解	27	実践目標	国際交流事業や授業を通して異文化理解を推進する。	4.1	A	3.6	A	
		教職員の協働体制の確立	28	実践目標	「産社」「総学」「課研」の内容を充実させ、探究活動やその成果の表現技術を高める。	4.2	A	4.2		
		学校行事	29	実践目標	1年次野外活動、2年次修学旅行等の学校行事を適切に計画し、実施する。	4.5	A	4.3		
		人権教育の充実	30	実践目標	人権HRと人権講演会を適切に実施し、人権尊重の精神を醸成する。	4.3	A	4.2		
		情報モラルの育成	31	実践目標	生徒の情報モラルやマナーを向上させ、情報社会に潜む危険性について指導する。	3.9	B	4.0		
学校独自項目	学校独自項目	総務部	32	実践目標	適切な年間行事予定を立案する。	4.2	A	4.3	A	
		教務部	33	実践目標	興味・関心・進路志向に対応した教育課程を編成する。	4.0	A	4.2	A	
		生徒部	34	実践目標	生徒の基本的な生活習慣の確立に意欲的に取り組む。	4.0	A	4.1	A	
			35	実践目標	生徒会・各種委員会の活性化を図る。	3.8	B	4.0		
		進路部	36	実践目標	進路情報を的確に分析し、進路指導を充実させる。	4.3	A	4.3	A	
		保健部	37	実践目標	学校環境を整備し、望ましい教育環境を作る。	3.6	B	3.8	A	
			38	実践目標	定期健康診断の事後措置の徹底を図る。	4.2	A	4.1		
		図書部	39	実践目標	図書室を整備し、生徒が利用しやすいように運営する。	4.0	A	4.2	A	
		推進部	40	実践目標	ホームページ・ブログの内容の充実を図る。	4.1	A	4.2	B	
			41	実践目標	オープンハイスクール、学校説明会等の広報活動を促進する。	4.4	A	4.4		
		1年次	42	実践目標	学力向上に対する取組(補習、個別指導、模試の実施と事後指導等)を適切に行う。	4.2	A	4.0	A	
			43	実践目標	生徒指導方針を明確にし、家庭との連携を図る。	4.3	A	4.1		
			44	実践目標	「産業社会と人間」の内容を充実させ、職員が協力して進路指導に取り組む。	4.3	A	4.1		
		2年次	45	実践目標	学力向上に対する取組(補習、個別指導、模試の実施と事後指導等)を適切に行う。	4.3	A	4.2	A	
			46	実践目標	生徒指導方針を明確にし、家庭との連携を図る。	4.3	A	4.2		
47	実践目標		「総合学習」の内容を充実させ、職員が協力して進路指導に取り組む。	4.3	A	4.2				
3年次	48	実践目標	学力向上に対する取組(補習、個別指導、模試の実施と事後指導等)を適切に行う。	4.4	A	4.2	A			
	49	実践目標	生徒指導方針を明確にし、家庭との連携を図る。	4.2	A	4.2				
	50	実践目標	「課題研究」の内容を充実させ、職員が協力して進路指導に取り組む。	4.0	A	4.3				

学校評議員評価

生徒のみなさまをはじめ、先生方、職員の方々には、3年間のコロナでブランク期間もある中、創意工夫、改善してやっていただけたと思います。また、北高の魅力をもっと発展させ、より他校にない魅力的な学校にさせていただきたいです。学校紹介パンフレットが刷新されていて見やすくなっているのではないのでしょうか。今後も時代に合った中学生に分かりやすいものを作り続けてほしいです。展示、掲示がPCを使って情報量が増え良くなってきていますが、1枚の紙に多すぎる傾向もあるので、欲張らないようにしてほしいです。

コロナ禍をようやく脱し、対面通常授業に戻り、生徒達の活動姿にも喜々とした表情が見受けられた今年度でした。ただ、生徒自身が他者と直接対面に対して過剰な遠慮や気配りの中での学生生活となっていたように見受けられます。しかしながら、年度末の総合学習発表会での生徒の皆さんを見る限り、とても伸びやかに、自身の学生生活を楽しめていた様子を見せていただき安堵しました。また、生徒達の自己管理の下での制服の一部自由化、とても前向きな取り組みだと感心いたしました。管理職・教師・職員の方、きっとそれぞれの立場でのご苦労がある中、日々、生徒一人一人に真摯に向き合われた結果だと思います。

今年度からの新しい取組で私服併用となり、校訓「初心」「自律」「連帯」を基軸として、社会の変化に主体的に対応できるこころ豊かな個性ある人間を育成するという教育目標にも合致しているの、子どもたちの初心自律連帯を今後も継続して見守っていきたい。学校行事もコロナ感染以前の規模に戻りつつある中で伊丹北高の独自の特色を打ち出せるものを生徒・保護者等の意見を吸い上げながら考え、実行してほしいです。地域の皆さんの注目度も高いので、様々な取組の発信にもさらに力を入れてほしいです。

伊丹北高の探究学習の成果が進路実現でも生かされていることがよく分かった。総合型選抜を採用する大学が増え、校内の指導体制について学校全体でのサポート体制づくりにつなげていただくことが必要ではないかと感じました。総合学科発表会もレベルの高い発表もあり、伊丹北高らしい伝統行事としてこれからも継続発展させてほしい。探究学習の成果が進学実績にもつながってきているので学校が積極的に発信していくこともしていけばよいのではないのでしょうか。

昨年は学校広報に関してもう少し積極的にしてほしいのではないかと意見させていただきました。いよいよ以前の学校運営に戻ってきたところで学校が地域小学生へのスポーツパーク、ボランティア活動、地域行事のお手伝い等様々な場面での地域貢献が活発になっていると感じました。ブログ等で報告・発信されていると思いますが、細かに情報を上げてほしいのではないかと感じました。また、進路に関する情報は直接メール等で保護者にも確実に伝わる方法も考えてほしいのではないのでしょうか。

3年次の取組等を聞かせていただき、本当に丁寧に生徒・保護者に向き合って指導していただいていることに感謝しています。ぜひ今後も長期休暇等の自習教室の開放を続けていただけたらうれしいです。遅くまで先生方が丁寧に指導していただいている成果が出ているのではないのでしょうか。先生方の負担を軽減出来るように智恵を出し合い生徒の進路実現のためにご尽力いただきたいと思います。